

## 第 66 回目の GIS News! です

実りの季節の到来で、庄内平野一面の黄金色に輝く稲穂が、爽やかな秋風に波打つ景色は本当に見事です。庄内は冷夏で例年よりやや不良とのことですが、まずまずの収穫で一安心しています。ところで、山形の秋の風物詩「いも煮会」は、旧十月一日の刈上げの行事で、収穫に感謝し隣近所の結束を固めるために始まったとの説もあるそうです。ご存知でしたか？

### 「School GIS (4次元GIS)」

教育に GIS を織り交ぜることにより、空間情報〔地球上にある地理的要素を持つ(位置情報を参照できる)あらゆる情報〕認識の育成だけに留まらず、自主性、問題解決能力、協調性といったような現在の教育に求められている「生きる力」「考える力」を育成することができる School GIS が検討されています。

例えば、従来の地図教育で行っていた歴史的变化(都市化・環境変化)を現在と過去の変化を抽出し、パソコンで解析することが GIS を使えば簡単に行うことができます。教育現場における「立体(3次元) + 時間変化 = 4次元 GIS」の活用が検討されています。

参考 URL : <http://www.e-gis-forum.jp/forum/event/sympo/20030329/ref0303.html>

### 「教育GISの課題」

各地で教育 GIS ワークショップが開催されていますが、教育現場において企業がどのようなかたちで GIS 活用に貢献すればよいのか、GIS を進めるうえでの課題として下記の2点があげられています。

- ・GIS というものを理解させ、それを活用していくための教育。
- ・教育を補助、促進する GIS の利用方法の模索。

いずれにせよ、School GIS においては、教師が持つノウハウ(授業経験、生徒の実態把握) 大学が持つノウハウ(教育理論、授業構想、カリキュラム開発) 企業が持つノウハウ(技術力、ソフト開発)を融合するための連携が必要になります。将来は、岐阜県の統合型 GIS イメージ図が示すような総合的体制が必要になって来るのではないのでしょうか。

参考 URL : [http://www.gis.pref.gifu.jp/02side\\_contents/01concept/concept.html](http://www.gis.pref.gifu.jp/02side_contents/01concept/concept.html)

各自治体の GIS 導入によって白地図データが整備され、教育現場で地元の詳細な地図データの活用が可能になれば、School GIS において幅広い可能性が生まれて来ると思います。School GIS を実現するためには、産官学が一体となった支援体制を整える必要があります。

### 次回の GIS News!

次回は 2003 年 10 月 20 日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

## Geographic Information System

記事 : 協同組合山形県地理情報センター 佐藤 秀紀 発行日 : 2003 年 10 月 6 日



庄内平野 (撮影 : 2003.10.1)

